

「犯罪被害者支援の過去・現在・未来」

犯罪被害者支援30年・犯罪被害給付制度及び救援基金40年記念

2021.10.8 (Fri)

開演13:00 終演17:10

(開場12:00※) /定員250名 定員に達し次第締切り

※新型コロナウイルス感染症対策として指定席・入場時間の指定
(はがきにて連絡)を行いません。

参加費無料
事前申込み制
(9/10まで)

新型コロナウイルス感染症対策として、定員をホール座席数の50% (250名) といたします。ホール内聴講が定員に達し次第、その後申し込まれた方を対象にYouTube限定ライブ配信 (500名) のURLを配布いたします。緊急事態宣言または緊急事態宣言に準ずる事態となった場合、次第変更または中止となる可能性がございます。予めご了承ください。

第一部：開会・来賓挨拶/表彰式/基調講演 (13:00-14:25) (敬称略)

- 【開会挨拶】全国被害者支援ネットワーク理事長 椎橋 隆幸
- 【来賓挨拶】国家公安委員会委員長 棚橋 泰文 日本弁護士連合会副会長 横山 幸子
- 【犯罪被害者支援功労者・功労団体・功労職員表彰 感謝状贈呈】
- 【基調講演】武蔵野大学人間科学部/人間社会研究科 教授 中島 聡美

第二部：被害者の声講演/パネルディスカッション/閉会挨拶 (14:45-17:10)

- 【被害者の声】交通事故被害者ご遺族 高田 香
- 【パネルディスカッション】コーディネーター 武庫川女子大学心理・人間関係学科 准教授 大岡 由佳
パネリスト 被害者支援都民センター理事長・医療法人社団青山会青木病院院長・精神科医 飛鳥井 望
大阪被害者支援アドボカシーセンター理事、支援総括責任者 井上 尚美
警察庁長官官房参事官 (犯罪被害者等施策担当) 西連寺 義和
- 【閉会挨拶】犯罪被害救援基金専務理事 黒澤 正和

基調講演 (13:45~14:25)

「犯罪被害者のメンタルヘルスとその支援・治療の発展、今後の課題」

日本における犯罪被害者支援と精神科医療における犯罪被害者のメンタルヘルスへの回復の発展と今後の課題について講演をいただきます。

パネルディスカッション

(15:40~17:00)

「被害者が望む支援のために
～第4次犯罪被害者等基本計画～」

第4次犯罪被害者等基本計画について理解を深め、被害者支援の充実のためのポイントとなる施策を討議テーマとしてディスカッションし、被害者が真に望む支援について議論を深めます。

被害者の声 (14:45~15:35)

「けんちゃんの朝顔に
交通安全の願いを込めて」

事故の状況や事故当日から刑事裁判判決まで、支えとなった犯罪被害者支援、朝顔に交通安全の願いを込めた理由等について講演をいただきます。



←お申し込みはこちらから
(フォーラム専用申込みフォーム)

<https://e.try-sky.com/shien/436f/>

概要は申込みフォームから閲覧できます。

全国犯罪被害者支援フォーラム2021(10/8 金) 概要

メインテーマ「犯罪被害者支援の過去・現在・未来」

今回で26回目となる「全国犯罪被害者支援フォーラム2021」は「犯罪被害者支援の過去・現在・未来」をメインテーマに開催する。なお、本年度のフォーラムは犯罪被害者支援30年・犯罪被害給付制度及び救援基金40年記念にかかわる開催である。

第一部

基調講演「犯罪被害者のメンタルヘルスとその支援・治療の発展、今後の課題」

◎講演者：武蔵野大学人間科学部/人間社会研究科 教授 中島 聡美 (敬称略)

<講演内容>

犯罪被害者のメンタルヘルスに与える影響は深刻なものであり、犯罪被害者等基本計画においても犯罪被害者の心身の健康の回復は4つの重要課題の一つに位置付けられている。実際、内閣府(警察庁)において実施された犯罪被害類型別調査(平成29年度)でも被害から10年以上経過した被害者においても17.5%の被害者が重症精神障害に該当すると報告されており、長期的な精神健康の障害がみられることがわかる。

一方、精神科医療においても地下鉄サリン事件や阪神淡路大震災・東日本大震災などの大規模災害からPTSDをはじめとするトラウマ関連疾患の病態や治療に関する知見が深まり、専門的治療の提供も徐々に広がってきている。

しかし、犯罪被害者がどこでも安心して、精神科医療を受けられるという状況にはまだ遠い現状である。

本講演では、日本における犯罪被害者支援と精神科医療における犯罪被害者のメンタルヘルスへの回復の発展と今後の課題について発表いただく。

第二部

被害者の声 講演「けんちゃんの朝顔に交通安全の願いを込めて」

◎講演者：交通事故被害者ご遺族(母) 高田 香 (敬称略)

<講演内容>

2016年に東京都足立区で起きた交通死亡事故の被害者の母親です。当時小学校1年生だった長男の謙真(けんしん)は、下校途中、右折してきたトラックに轢かれ亡くなりました。謙真が残っていた朝顔の種に交通安全の願いを込め、その種を出会った方に託してまいりました。今後は、朝顔が交通安全のシンボルになるように、また、交通死亡事故を減らすため、明るく美しい交通安全啓発活動を、全国各地で行ないたいです。

※本講演では、事故の状況の説明、刑事裁判判決までの心情、支えとなった犯罪被害者支援についてお話いただくとともに、朝顔に交通安全の願いを込めた理由等についてお話いただきます。

パネルディスカッション「被害者が望む支援のために～第4次犯罪被害者等基本計画～」

◎登壇者(敬称略)

コーディネーター：武庫川女子大学 心理・人間関係学科 准教授 大岡 由佳

パネリスト

被害者支援都民センター理事長・医療法人社団青山会青木病院院長・精神科医 飛鳥井 望

大阪被害者支援アドボカシーセンター理事、支援総括責任者 井上 尚美

警察庁長官官房参事官(犯罪被害者等施策担当) 西連寺 義和

<討議内容>

第4次犯罪被害者等基本計画について理解を深める。

第4次犯罪被害者等基本計画の4つのポイントを中心に解説を行なったのち、討議テーマとして、「①地方公共団体(基礎自治体)における支援のための連携」、「②潜在化しやすい被害者に配慮した支援」の二つを設定した。①については、地方公共団体(基礎自治体)の活性化のために取り組むべき課題や実現のための工夫を、専門職の活用や大規模事案対応を含みながら討議を展開する。また自治体の活用例の紹介を行なう。②については、性犯罪被害者、子ども、障害者への支援のために必要な他機関連携の構築について、教育委員会や学校との連携方法を模索しつつ、実際的な討議を行なう。